

●柿のポット栽培に取り組み19年

ベル・ファームは、大正時代から続く柿農家で、90年前から次郎柿を栽培しています。4代目の鈴木義弘さんは、大学で学んだ柿のポット栽培を農園で実践。安定した収穫による質の高い柿を市場へ送り出しています。「ポット栽培では、細かく張ったたくさんの根が効率よく養分を吸うので、品質が高まり、しかも通常よりも短い期間で果実が結実します」と鈴木さん。もっとよい柿をと、新しい品種の栽培に挑戦中です。



▲「誰でもできる柿づくりを次世代へ繋いでいきたい」と鈴木義弘さん

●豊橋市石巻から石巻市へ次郎柿を贈る

ベル・ファームでは昨年、賛同してくれる仲間とともに、東日本大震災の被災地、宮城県石巻市の仮設住宅で暮らす人たちへ次郎柿を届けました。この活動が、豊橋次郎柿生誕100周年記念事業「復興お絵柿プロジェクト」に発展。丹精込めて作った次郎柿を、絵を描いた果実袋に包み、被災地の人たちが元気になるメッセージとともに自分たちの気持ちを届けます。今年も、玉川小学校の柿畑で栽培した柿を贈る準備が進んでいます。

(稲荷センター 服部佳子)



▲絵を描いた袋を10月初旬に次郎柿に被せ、12月初旬に収穫。袋に包んだ状態で被災地に届けます。(昨年の様子)

ベル・ファーム ●豊橋市石巻小野田町字下切田31 ●0532-88-2932

編集後記

日本中が熱く盛り上がったFIFAワールドカップはあっというまに終わってしまいましたが、私たちが暮らすこの東三河にも、“地域をなんとかして盛り上げよう”“地域の発展のために…”という“熱い想い”をもって継続的に日々の活動に取り組んでいる方がたくさんいます。

今回の取材でお会いした皆さんからも、“温かさ”や“思いやり”が強く伝わってきました。誌面を通して、私たちが暮らすこの地域が“心地よい温かみのある地域”であるということを感じていただければ幸いです。

(おもやいっこ編集チーム)

東三河ヤクルト販売株式会社 豊橋市花中町54番地 TEL.0532-31-8960

- 花中センター 豊橋市花中町54番地 0532-32-0301
- 春日センター 豊橋市春日町2-50 0532-62-3374
- 弥生センター 豊橋市弥生町中原16-2 0532-46-5379
- 二川宿センター 豊橋市大岩町東郷内232 0532-41-2628
- 田原センター 田原市神戸字新大坪18 0531-23-1860
- 小坂井センター 豊川市伊奈町佐脇原500-252 0533-72-6321
- 豊川みなみセンター 豊川市塚町2丁目27 0533-84-0744
- 稲荷センター 豊川市豊栄町7-1 0533-85-0816
- 新城センター 新城市片山538-9 0536-22-2611

